



秋田県消防学校の初任教育第七一期入校式が四月七日(金)、県内一一消防本部から六二名の入校生並びに来賓、家族など二〇〇名が出席し、同校屋内訓練場で行われました。

入校式では、国歌斉唱の後入校生の名前が一人ひとり発表され、鈴木嘉司憲校長が式辞を述べました。

続いて、堀井啓一秋田県副知事、佐藤好幸秋田県消防長会長(秋田市消防長)、中田潤秋田県消防協会会長が、入校生を激励、入校生を代表して北秋田市消防本部の齊藤卓弥消防士が宣誓を行いました。

入校生は、九月一五日(金)までの約半年間、寮で共同生活を送りながら、消防全般にわたる基礎的知識と技術の習得、厳正な規律、旺盛な気力と体力の錬成などの教育訓練を受け、警防隊員として活動できる能力を養成することになります。

第七一期初任教育入校式

六二名が新たな一歩を踏み出す

秋田県消防学校

消防秋田

題 字
初代会長 松野盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail: ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

平成二十九年全国統一防火標語
火の用心
ことばを形に
習慣に

今年度も女性消防士一名が入校し、これで一〇年連続の三八名となりました。

校長式辞(要約)

消防士として、新たな一歩を踏み出しました皆さんのご入校を、教職員一同心から歓迎いたします。

さて、火災や事故の発生は多様化・複雑化しております。また、近年頻繁に発生している豪雨災害や、東日本大震災、熊本地震のような、大規模な自然災害の発生も懸念されております。

しかし、どのような社会情勢にあろうとも、消防の任務は、安全・安心を確保することにあります。

それだけに、消防に対する住民の期待は大きく、消防職員には、火災や救急に止まらず、各種の自然災害等へも迅速で的確な対応が求められます。

そうした過酷な災害現場で活動するためには、健康であることに加え、逆境に耐えうる精神力や忍耐力が必要であり、様々な技術や訓練を

体得しなければなりません。

ここでの教育訓練においては、危険回避や注意喚起のため、教官が厳しく指導することがあります。学生諸君、どうか怯むことなく強い信念を持って、必要な知識や技術の修得に全力で臨んでください。

入校生宣誓(全文)

私は、初任教育、第七一期学生として入校の意義と消防の責務を自覚し、校則を守り、和を尊び、規律ある学校生活を通じて、勉学研修に励み、消防職員として地域住民の信頼に値する人格陶冶に努めることを誓います。

平成二九年四月七日

北秋田市消防本部

消防士 齊藤 卓弥

鈴木校長



入校生宣誓

初任教育第71期 入校生名簿

【1組】

秋田市消防本部

二 瓶 慎 吾	福 田 公 哉
櫻 庭 裕 成	進 藤 陽 祐
渡 部 健 人	澤 田 峻
鎌 田 晃 遥	金 子 祥 大

大館市消防本部

安 部 慎 也	佐 藤 隆 也
---------	---------

北秋田市消防本部

齊 藤 卓 弥

由利本荘市消防本部

尾留川 剣 汰

横手市消防本部

佐 藤 梓

鹿角広域行政組合消防本部

大 森 依志樹	杉 江 瞳 莞
---------	---------

能代山本広域市町村圏組合消防本部

茂 呂 成 倫	戸 松 恒 希
佐々木 和 志	金 平 健 太

男鹿地区消防一部事務組合消防本部

佐々木 飛 鳥	加 藤 玲 也
三 浦 拓 海	

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

佐 藤 桂	村 田 輝 昭
小山田 海 都	富 樫 悠 也
清水川 聖	武 藤 壮

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

高 橋 大 貴	藤 原 駿
柴 田 瑠 樹	

【2組】

秋田市消防本部

金 尚 嵩	高 橋 蓮
佐 藤 太 樹	片 岡 琢 郎
佐 藤 俊 樹	須 原 優 太
船 木 元 春	

大館市消防本部

小 貫 慧 太	芳 賀 雄 磨
---------	---------

北秋田市消防本部

堀 部 駿 輝	中 嶋 晃 大
---------	---------

由利本荘市消防本部

佐々木 雄 大

横手市消防本部

後 藤 嘉之介

鹿角広域行政組合消防本部

目 時 耀 介	亀 田 涼 太
---------	---------

能代山本広域市町村圏組合消防本部

今 野 涼 太	納 谷 勇 輝
中 村 元 気	小 林 正 和

湖東地区行政一部事務組合消防本部

高 橋 孝 輔

男鹿地区消防一部事務組合消防本部

船 木 亘	橋 本 祥 緒
岩 谷 威 駒	菊 地 大 成

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

村 岡 僚 太	高 橋 一 生
門 脇 諒	大信田 巧 馬
木 元 美 禪	

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

佐々木 俊 仁	遠 田 亘
---------	-------

秋田県消防学校職員名簿

校 長	鈴 木 嘉司憲
-----	---------

副 校 長	伊 藤 博 之
-------	---------

総務班

副主幹・班長	原 田 聡 司
主 査	佐 藤 弘 康
主 任	本 間 律 子
技能主任	堀 井 一 樹
舎 監	猪 股 秀 二
舎 監	米 谷 芸
防災学習館説明員	
	高 橋 博
	佐 藤 伸
	佐々木 千 穂

教務班

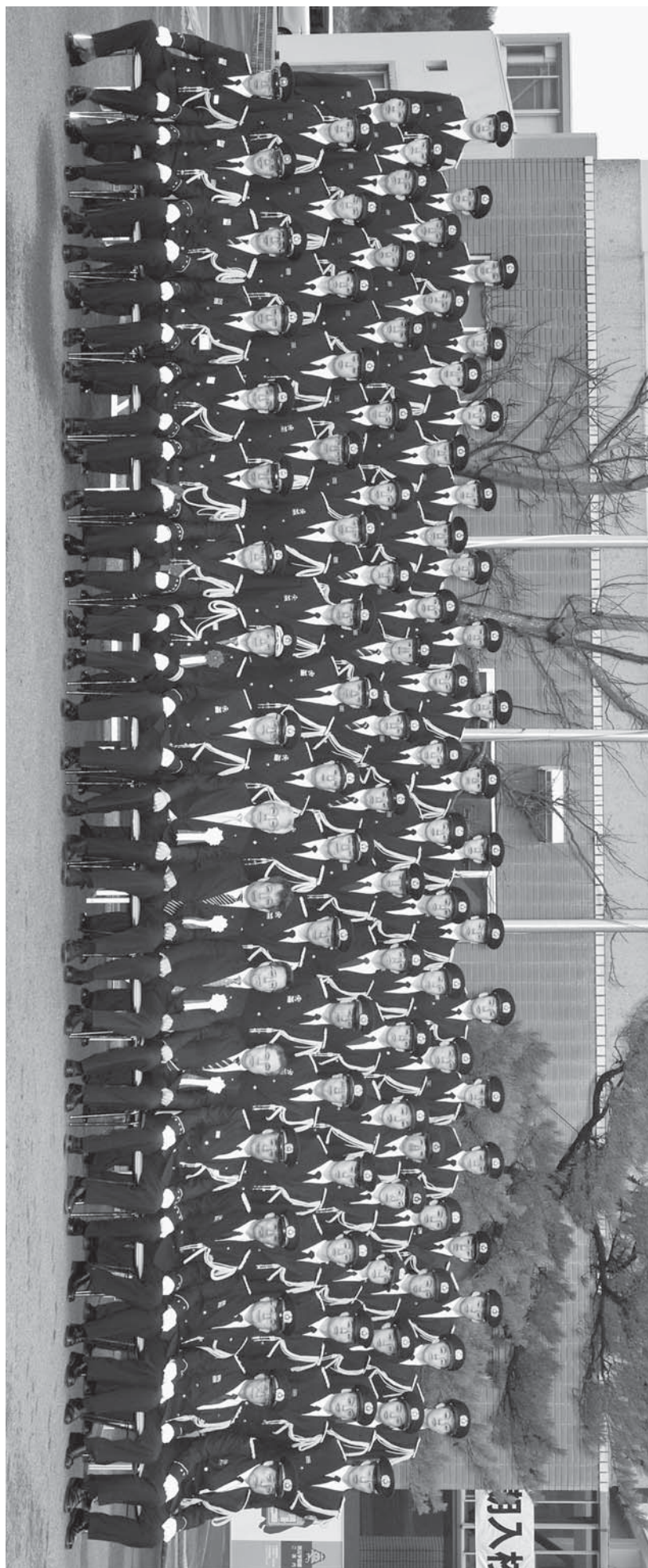
主幹・班長	大 野 光 徳
主 幹	大 高 英 人
副 主 幹	古 谷 健 二
副 主 幹	榊 田 和 則
副 主 幹	佐 藤 均
副 主 幹	池 田 敏 英
講 師	大 澤 善 樹
講 師	樋 渡 統 一



中田消防協会長



佐藤消防協会長



堀井副知事



各消防長



県・学校職員



伊藤副校長

教育訓練計画（総括表）

教 育 課 程		教育実施期間		入 校 対 象 者
		日数	時 期	
消 防 職 員	初 任 教 育	164	H29. 4. 5～H29. 9. 15	新たに採用された消防職員
	警 防 科	12	H29. 10. 16～H29. 10. 27	警防業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防歴3年以上の者
	火 災 調 査 科	12	H29. 9. 25～H29. 10. 6	火災調査業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防歴3年以上の者
	危 険 物 科	5	H29. 11. 27～H29. 12. 1	危険物業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防歴3年以上の者
	救 急 科	51	H30. 1. 9～H30. 2. 28	救急業務に従事しようとする者
	救 助 科	29	H29. 9. 28～H29. 10. 26	35歳以下の救助業務に耐えうる体力を有している者
	特 殊 災 害 科	9	H29. 11. 9～H29. 11. 17	警防及び救助業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防士長以上の階級にある者
	幹 部 教 育	9	H29. 7. 24～H29. 8. 1	55歳以下の消防司令以上の階級にある者
	特 別 教 育	消防操法指導員講習 (女性消防操法指導員講習)	2 H29. 5. 9～H29. 5. 10 1 H29. 5. 11～H29. 5. 11	消防士長以上の階級で、訓練礼式・消防操法を担当する者
		救 急 特 別 講 習	3 H29. 12. 6～H29. 12. 8	救急救命士養成所への入所予定者
		ビ デ オ 喉 頭 鏡 迫 加 講 習	1 H29. 11. 10～H29. 11. 10	平成26年度以前に救急救命士資格を取得した者
		救急救命処置再教育 (救急救命処置拡大追加講習)	3 H29. 11. 29～H29. 12. 1	救急救命士資格者（薬剤投与認定救急救命士）
		基 礎 教 育	2 H30. 3. 10～H30. 3. 11	団員の階級にある者
	消 防 団 員	指 揮 幹 部 科 現 場 指 揮 課 程	2 H30. 3. 17～H30. 3. 18	部長又は班長（部長と同等）の階級にある者
		指 揮 幹 部 科 分 団 指 揮 課 程	2 H30. 3. 3～H30. 3. 4	分団長、副分団長の階級にある者
		女性消防団員教育	2 H29. 10. 28～H29. 10. 29	秋田県消防協会の推薦による女性団員
		日 消 指 導 員 教 育	2 H29. 11. 25～H29. 11. 26	団員の教育訓練を担当する者
		現 地 教 育	(内容・時間数について、地域の実情を勘案して実施)	市町村長等の推薦による団員
そ の 他	一 日 入 校 教 育	(内容・時間数について、要望を勘案して実施)		市町村長等の推薦による団員
		(内容・時間数について、要望を勘案して実施)		各種団体等の要請による

秋田県消防学校
平成29年度教育訓練計画

秋田県消防学校では、消防団員を対象とした教育訓練を行っています。そのうち基礎教育第63期、幹部教育指揮幹部科現場指揮課程第1期及び幹部教育指揮幹部科分団指揮課程第4期の実施要領を紹介しますので、参考にさせていただき、多くの団員が受講されることを期待しております。

なお、受講希望者は市町村消防団係にお問い合わせ下さい。

◎宿泊場所
秋田県消防学校「研心寮」

教育課程	基礎教育第63期	
目 的	入団して概ね3年未満の消防団員に対して、基礎的教育を行う。	
対象者	団員の階級にある者	
教育期間	平成30年3月10日(土)～3月11日(日)	
教科目 及 び 時間数	教科目（教育内容）	時間数
	訓練礼式（各個訓練、小隊訓練、通常点検要領）	2
	組織制度（消防団の組織制度）	1
	ポンプ操法（消防ポンプ操法）	2
	火災防ぎょ、安全管理(火災防ぎょ・安全対策)	2
	防災（災害対策）	1
	救急救助（応急手当、基本結索）	2
	行事その他（入校式、修了式等）	2
	計	12

幹部教育指揮幹部科現場指揮課程第1期		教育課程	幹部教育指揮幹部科分団指揮課程第4期	
現場指揮者としての職責を自覚させ、的確な現場指揮、安全管理の知識等を持たせる。		目 的	分団の指揮者としての職責を自覚させ、消防団の管理運営等、広い知識を持たせる。	
部長又は班長（部長と同等）の階級にある者		対 象 者	分団長、副分団長の階級にある者	
平成30年3月17日(土)～3月18日(日)		教育期間	平成30年3月3日(土)～3月4日(日)	
教科目（教育内容）	時間数	教科目及 び時間数	教科目（教育内容）	時間数
講話（職責と心構え）	1		講話（職責と心構え）	1
現場指揮、安全管理（現場指揮要領、事故予防対策）	1		防災（災害基本法と消防団の役割、地域防災計画に占める消防団の役割、長期化活動対策等）	4
火災防ぎょ訓練（指揮要領、延焼拡大防止措置）	2		安全管理、組織制度（公務災害補償制度の概要、消防団組織の現況、消防団の充実強化等）	1
救助・救命訓練（倒壊家屋等からの救助救命と指揮要領）	4		災害対応図上訓練（分団本部活動・管理運営要領、災害情報収集、他機関との連携等）	4
避難誘導訓練（災害時の避難誘導・避難広報）	2		事例研究（消防団の充実強化及び活性化事例、安全管理事例）	1
災害情報収集・伝達訓練	1		行事その他（入校式、修了式等）	1
地域防災指導訓練（初期消火、応急手当及び簡易な救助の指導方法）	1		計	12
行事その他（入校式、修了式等）	2			
計	14			

平成二九年 春の叙勲 第二八回危険業務従事者叙勲

平成二九年春の叙勲及び第二八回危険業務従事者叙勲の受章者が発表され、消防関係の本県受章者は叙勲二四名、危険業務従事者叙勲九名の方が受章されました。
誠におめでとうございます。

(記載は五十音順)

平成二九年 春の叙勲

◆瑞宝双光章(四名)

元大田市消防団

団 長 草 彌 忠 誠

元鹿角市消防団

団 長 黒 澤 文 男

元横手市山内消防団

団 長 高 階 健 太 郎

元横手市増田消防団

団 長 高 橋 耕 治

◆瑞宝単光章(二〇名)

元湯沢市消防団

分 団 長 井 上 李 左 衛 門

元田沢湖町消防団

副 分 団 長 大 山 隆 男

元湯沢市消防団

副 分 団 長 兼 子 敏 夫

元五城目町消防団

分 団 長 久 保 市 久 之 助

元大館市消防団

副 分 団 長 小 松 大 八

元秋田市消防団

分 団 長 小 松 慶 勝

元西木村消防団

分 団 長 小 林 伍 市 郎

元山本町消防団

分 団 長 近 藤 幸 雄

元鳥海町消防団

分 団 長 佐 藤 文 一 郎

元八竜町消防団

分 団 長 進 藤 昇 直

元大田市消防団

副 分 団 長 菅 原 多 賀 雄

元神岡町消防団

分 団 長 菅 原 隆 司

元北秋田市消防団

分 団 長 鈴 木 由 太 郎

元美郷町消防団

副 分 団 長 高 橋 勝 利

元大館市消防団

分 団 長 日 景 義 雄

元男鹿市消防団

副 分 団 長 平 賀 一 男

元飯田川町消防団

分 団 長 藤 田 剛 太 郎

元阿仁町消防団

副 分 団 長 湊 幸 男

元横手市消防団

分 団 長 和 賀 秀 夫

元秋田市消防団

分 団 長 渡 邊 敏 夫

◆瑞宝双光章(七名)

元秋田市消防本部

消防司令長 相 場 隆

元男鹿地区消防一部事務組合消防本部

消 防 監 天 野 正 廣

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

消 防 監 伊 藤 等

元にかほ市消防本部

消防司令長 下 居 和 夫

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

消防司令長 栗 林 信 夫

元由利本荘市消防本部

消防司令長 小 番 實

元湖東地区行政一部事務組合消防本部

消防司令長 土 橋 次 男

◆瑞宝単光章(二名)

元横手市消防本部

消防司令長 岩 野 守

元大館市消防本部

消防司令 富 樫 修 一

新消防長紹介



大館市消防本部
三 浦 勝 彦



鹿角広域行政組合
消防本部
田 中 政 幸



北秋田市消防団
藤 田 久 悦



大館市消防団
齋 藤 勉



湯沢雄勝広域市町村
圏組合消防本部
杉 山 暁 人



にかほ市消防本部
本 間 徳 之



由利本荘市
消防本部
齋 藤 郁 雄



能代山本広域市町村
圏組合消防本部
伊 藤 智

新消防団長紹介



湯沢市消防団
軍司信幸



横手市大雄消防団
高橋良則



仙北市消防団
荒木俊一



大仙市消防団
佐藤一



八郎潟町消防団
渡部壽一



潟上市消防団
伊藤良勝



男鹿市消防団
鈴木敏信

消防団員を募集しています

自分のまちを災害から守り、まちの安全と安心をつくる消防団員を募集しています。

消防団員を募集している消防団は次のとおりですが、その数や応募条件は平成29年4月時点のものです。

詳細については、市町村の消防担当課または消防本部にお問い合わせ下さい。

多くの方の応募をお待ちしております。

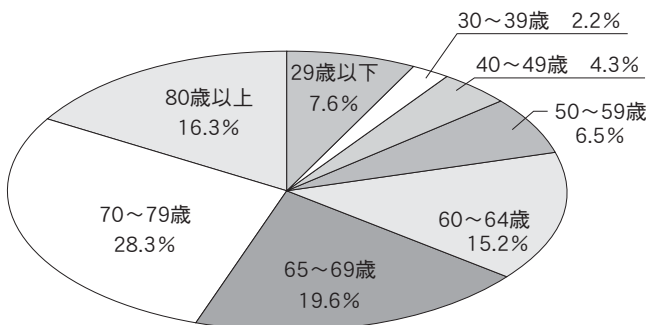
消防団名	募集团員数 (人)			応募の条件		問い合わせ先	
	総数	男性	女性	現住所・勤務地	年齢	課所名	電話番号
鹿角市	33	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	消防本部	0186-23-5601
小坂町	25	性別は不問		当町に居住又は勤務	18歳以上	町民課	0186-29-3928
大館市	94	84	10	当市に居住又は勤務	18歳以上	消防本部	0186-43-4152
北秋田市	74	性別は不問		当市に居住する者	18歳以上	消防本部	0186-62-1119
上小阿仁村	15	15	0	当村に居住又は勤務	18歳以上	住民福祉課	0186-77-2222
能代市	100	性別は不問		当市に在住する者	18～64歳	能代消防署	0185-52-3311
藤里町	12	12	0	当町に居住する者	18～59歳	生活環境課	0185-79-2115
三種町	59	性別は不問		当町に居住又は勤務	18歳以上	町民生活課	0185-85-4823
八峰町	84	性別は不問		当町に居住する者	18歳以上	総務課	0185-76-4601
男鹿市	102	性別は不問		当市に居住する者	18歳以上	総務課	0185-24-9113
潟上市	20	性別は不問		当市に居住又は勤務	18～49歳	総務課	018-853-5301
五城目町	74	性別は不問		当町に居住又は勤務	18歳以上	消防本部	018-852-2028
八郎潟町	7	性別は不問		当町に居住又は勤務	18～65歳	町民課	018-875-5806
井川町	17	性別は不問		当町に居住する者	18歳以上	町民課	018-874-4416
大潟村	20	性別は不問		当村に居住又は勤務	18歳以上	住民生活課	0185-45-2114
秋田市	209	性別は不問		当市に居住する者	18～50歳	消防本部	018-823-4000
由利本荘市	147	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	消防本部	0184-22-4282
にかほ市	18	10	8	当市に居住又は勤務	18歳以上	消防本部	0184-38-2311
大仙市	119	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	総合防災課	0187-63-1111
仙北市	127	性別は不問		当市に居住する者	18～65歳	総合防災課	0187-43-1115
美郷町	58	性別は不問		当町に居住する者	18～55歳	住民生活課	0187-84-4903
横手市横手	47	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	横手地域課	0182-32-2701
横手市増田	30	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	増田地域課	0182-45-5510
横手市平鹿	70	55	15	当市に居住又は勤務	18歳以上	平鹿地域課	0182-24-1111
横手市雄物川	59	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	雄物川地域課	0182-22-2111
横手市大森	20	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	大森地域課	0182-26-2111
横手市十文字	40	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	十文字地域課	0182-42-5111
横手市山内	20	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	山内地域課	0182-53-2111
横手市大雄	27	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	大雄地域課	0182-52-2111
湯沢市	30	性別は不問		当市に居住する者	18歳以上	総務課	0183-55-8250
羽後町	63	63	0	当町に居住又は勤務	18～64歳	生活環境課	0183-62-2111
東成瀬村	38	性別は不問		当村に居住又は勤務	18歳以上	民生課	0182-47-3403

山岳遭難事故の発生状況

合 計	件 数	H25	H26	H27	H28
	遭難者数	70	67	67	68
	うち死亡	9	14	9	13
登 山	件 数	10	18	19	15
	遭難者数	11	33	22	34
	うち死亡	1	3	-	1
山菜取り	件 数	29	32	31	42
	遭難者数	41	36	35	47
	うち死亡	2	5	2	9
きのり	件 数	15	11	14	8
	遭難者数	18	12	19	8
	うち死亡	-	5	4	2
そ の 他	件 数	16	6	3	3
	遭難者数	23	6	4	3
	うち死亡	6	1	3	1

* 「その他」は森林伐採、溪流釣り等の事故

平成28年山岳遭難 年代別発生状況



消 防 半 天 ・ 帯 ・ 団 旗
優 勝 旗 ・ ゼ ッ ケ ン
手 拭 ・ タ オ ル ・ の れ ん
旗 幕 類 名 入 染 物 専 門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消 防 被 服 全 般
秋 田 県 代 理 店

株式会社 高 義 商 会

(営 業 種 目) { トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消 防 被 服 全 般
火 災 報 知 器 各 種
消 火 器 各 種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

山菜採りが遭難の六二%を占める
平成二九年度秋田県山岳遭難防止
対策協議会(会長・堀井啓一秋田県
副知事)総会が四月二五日(火)、秋
田県庁第二庁舎で開催され、平成二
八年の山岳遭難事故発生状況報告な
どが行われました。
山岳遭難事故報告によると、発生
件数は六八件、うち山菜採りが四二
件で六二%を占め、遭難者数は九二
人、うち六五歳以上の高齢者は五九
人で六四%となっております。

秋田県山岳遭難 防止対策協議会

入山者の皆さんへ

山菜採りに行くときの注意・装備品の注意

- ①一人で山には入らないで、家族(又は知人)に行き先を告げる
- ②自分の体力、体調にあった行動をとる
- ③知らない山には入らない
- ④天気予報・気象情報を確認してから出かける
- ⑤予備の食糧、雨具、着替え、ライター、熊鈴、ラジオ、笛などを持つ
- ⑥携帯電話(電波の届く場所を確認する)
- ⑦服装、所持品は目立つ色にしましょう
 - ・自然界に無い色の物を着用・持参しましょう
 - ・搜索する側から目立つ色は白色
 - ・白いタオルを持参して入山して下さい

入山の注意・登山の注意

- ①声を掛け合い、お互いの居場所を確認して同行者と離れない
- ②方向を見失わないようにする
- ③無理をせず早めに切り上げ、明るいうちに下山する

もし、迷ってしまったら

- ①むやみに歩き回らない
(沢や崖などに転落してしまう場合があります)
- ②雨風を防げる場所で救助を待つ
- ③明るくなったら見通しの良い場所に出て、救助を待つ
- ④搜索のヘリコプターを見つけたら、見通しの良い場所に移動して、目立つ色の着衣、雨具、タオル等を振って自分の居場所を知らせる

株式会社 タ カ ギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営 業 種 目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース
トーハツポンプ | シバウラポンプ
各種消防機械器具 | 各種消火器
消防設備保守点検

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

支部情報アラカルト

『支団制の廃止と分団の統合』

三種町消防団Ⅱ

三種町消防団は、四月一日から支団制を廃止し、分団を統合しました。地域の人口減少や高齢化による消防団員の減少で分団の維持が困難な地域があるほか、今後そのような地域が増加することが予想されることから、二七分団を九分団に組織再編しました。

再編によって分団管轄区域の人口が多くなり、団員確保がしやすくなるほか、分団の団員数が増えることで団員個々の負担が軽減され、消防団活動の幅が広がることが期待されます。



三月一日現在の消防団員数は四五六人で、定数五〇七人に対して充足率は八九・九四パーセント。近年は四六〇人前後で推移し横ばいとなっていますが、個々の分団では班長以上はいるもの

の団員がいない分団や定数を大幅に下回っている分団もあり、今後そのような分団が増え、住民の安全・安心の確保が難しくなることが想定され、組織再編を検討しました。



議・幹部会議を経て、平成二九年四月からの再編を決定しました。

今後も、

消防団員の負担軽減を考慮しながら、地域の消防防災力を維持するため、消防団の組織強化に取り組みます。



〔情報提供〓能代市山本郡支部〕

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成29年		平成28年			同期比較	
	4月	累計	4月	累計	年計	4月	累計
建物	23	67	23	79	191	0	-12
林野	8	8	10	13	32	-2	-5
車輦	2	9	5	11	32	-3	-2
その他	13	20	22	29	56	-9	-9
合計	46	104	60	132	311	-14	-28
死者数	3	8	2	11	22	1	-3
負傷者数	12	27	5	21	54	7	6

第23回全国女性消防操法・秋田大会
開催のお知らせ

初めての地方大会が、秋田市で開催されます。

- 〇日時 平成29年9月30日(土)
午前9時から(雨天決行)
- 〇会場 向浜運動広場駐車場
(こまちスタジアム駐車場)
秋田市新屋町字砂奴寄4-6
- 〇主催 消防庁、(公財)日本消防協会
- 〇協力 秋田県、秋田市、(一財)秋田県消防協会、秋田県消防長会

モリタ消防ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

シバウラポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社
株式会社

能代消防センター
協立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651